

学習用端末の準備についてのお知らせ

名古屋市立の高等学校、特別支援学校高等部では、
令和9年度入学生から、学習用端末を各自で準備していただきます。

生成AIの急速な進展に象徴される昨今のデジタル社会において、子どもたちは学習用端末をノートや筆記具と同様に、学習ツールとして主体的に活用していく力が求められています。

このような背景を踏まえ、令和9年度の入学生の皆様から、学習で使用する端末を個人所有のものとし、端末を「学びをデザインするもの」として、主体的な学びを推進してまいります。

自分の端末を継続的に活用することで、学びの記録が蓄積され、より深い理解や探究的な学びにつながることを期待されます。

子どもたち一人ひとりが自らの学びをデザインし、主体的・探究的に学ぶことができるよう、適切な支援を行ってまいります。

何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

学習用端末の活用方法

個別最適な
学び

画面の拡大、書き込みなどを活用して自分に合った学習を行います。自分に合ったアプリをインストールすることも可能で、学校と家庭で連続した学習を行えます。



協働的な
学び

学習支援ソフト上で考えの共有や意見の整理を行い、話し合いによって思考を深めながら学習を進めます。資料や作品を共同編集、共同制作をすることも可能です。



探究的な
学び

インターネットを活用した調査・分析、AIを活用した思考の深化など、試行錯誤しながら課題を解決する探究的な学びに活用することができます。

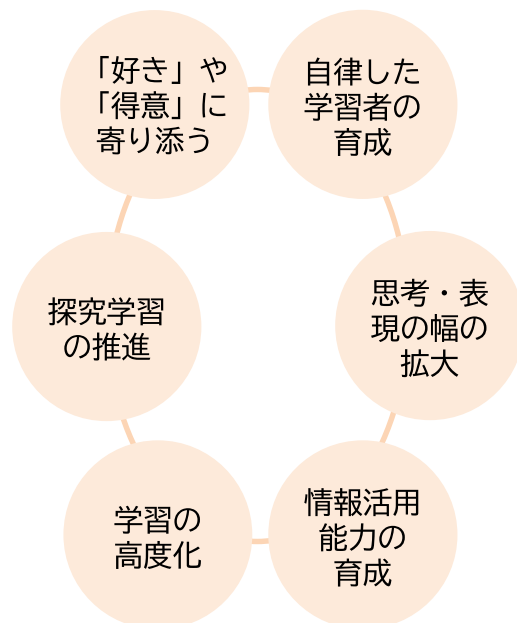


その他

教員から教材や課題の配布を行い、資料の作成・編集や提出を学習用端末を通じて行います。また、学校からの連絡も学習用端末を用いて行います。



期待する効果



Q1 なぜ各家庭で端末を準備する必要があるのですか？

A1 学校と家庭をつないだ学習や、個々の理解度に応じた学びを進めるため、日常的に端末を活用することが重要となっています。個人所有の端末であれば、最適なアプリケーションを追加して自由にカスタマイズができ、個人の「好き」や「得意」に合わせた学びを進めることができます。

Q2 必ず新しく購入しなければなりませんか？

A2 いいえ。すでにお持ちの端末でも、学校での学習に必要な条件を満たしていれば使用することができます。必要な仕様や条件については、学校・学科ごとに決定し、今後本市のwebサイト等でご案内いたします。なお、端末の購入にあたっては本市で販売サイト（以下「ECサイト」といいます）を用意する予定です。

Q3 端末の価格はいくらくらいですか？

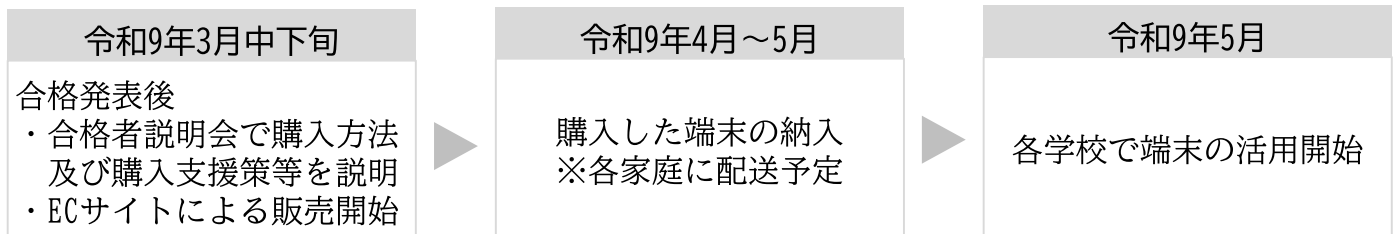
A3 市場価格等を踏まえ、現在検討中です。決まり次第、本市のwebサイト等でご案内いたします。

Q4 端末購入に対する補助はありますか？

A4 所得が一定基準を下回る世帯等に対する支援策を検討しています。

Q5 いつまでに準備すればよいですか？

A5 令和9年5月から端末を活用していくことを想定していますので、それまでに準備をお願いします。なお、本市が用意するECサイトで端末を購入する場合のスケジュールは以下の予定です。



Q6 故障やトラブルがあった場合はどうなりますか？

A6 各ご家庭で所有される端末となるため、基本的には各自での対応をお願いすることになります。ECサイトでの販売端末には、在学期間に対応した保証をつけることができるようにする予定です。

Q7 通信環境はどうなっていますか？

A7 学校では教室や体育館などで市が用意するWi-Fiに接続することができます。なお、それ以外の通信料は各家庭での負担となります。

今後の新着情報や問い合わせ先は、以下のURLよりご確認ください。

URL : <https://www.city.nagoya.jp/kodomo/schools/1016783/1016794/1051184.html>

